

町民の命を守るために

高規格救急車が 運用を 開始しました



北留萌消防組合消防署幌延支署に高規格救急自動車が入り、11月21日から運用を開始しました。高規格救急自動車は、除細動器や自動心肺蘇生装置、自動式人工呼吸器などの装備を整え、緊急の時には救急救命士が医師の指示を受けて救命措置を施しながら病院へ搬送する救急車です。こうした医療行為は、救急救命士の資格を持った者しか行えないため、計画的な人員の採用を行ってきており、現在、幌延支署には5名の救急救命士がいます。

運用開始となる11月21日に関係者が集まり、高規格救急自動車の入魂式が幌延支署車庫内で行われました。式典では、町長が「広い幌延町では高規格救急車の活躍が期待される。資機材の訓練に励み、いざというときに備えていただきたい。」と挨拶をし、その後、出席者が車内などを見学しました。

車両は10月に納車され、運用開始までの間、署員は資機材の使用などの訓練を重ねてきています。高水準の資機材と、最先端の技術をもって、地域社会の安心安全を守ってくれることと期待しています。



◆ 高規格救急自動車入魂式



高規格救急自動車の資機材の名称と概要

画像	名称：概要
	自動心肺蘇生装置： この機械により、絶え間なく心臓マッサージを行うことができます。
	気管確保用チューブ： 医師に指示をもらい、食道にチューブを挿入し肺へ空気を入れることができます。
	自動式人工呼吸器： この機械により、傷病者に的確な酸素の量を与えることができます。
	救急モニター： 心電図測定、血圧測定、身体の酸素濃度を測定することができます。
	除細動器： 正常な動きをしていない心臓に、必要があれば電気ショックを与え、正常な動きに戻ることができる機械です。（停止している心臓に電気ショックを与えることはできません。また、必ず正常な心臓の動きに戻す機械ではありません。）